

[臨床] 松本歯学 13 : 129~149, 1987

key words : 歯原性腫瘍 — 歯牙腫 — 統計 — 診断

## 上顎前歯部に見られた歯牙腫の一例 並びにその文献的考察

村上浩子, 河田直彦, 伊藤良彦  
賀数 恵, 藤田 研, 徳植 進

松本歯科大学 総合診断学・口腔外科学講座 (主任 徳植 進 教授)

太田紀雄

松本歯科大学 歯周治療学講座 (主任 太田紀雄 教授)

### A Case of Odontoma with Consideration of Related Reports

HIROKO MURAKAMI, NAOHICO KAWATA, YOSHIHIKO ITŌ,  
KEI KAKAZU, KEN FUJITA and SUSUMU TOKUUE

*Department of Oral Diagnostics and Surgery, Matsumoto Dental College*  
(Chief : Prof. S. Tokuue)

NORIO OTA

*Department of Periodontology, Matsumoto Dental College*  
(Chief : Prof. N. Ota)

### Summary

Odontoma has been classified as having many kinds of forms or structures since it was first reported in 1821 by Oudet.

Here we discuss those forms that have been observed from 1927 to 1984 in Japan., including one of our own recent cases.

- 1) The cases of compound odontoma, numbering 179, were more frequent than cases of complex odontoma, which numbered 149.
- 2) Odontoma was observed frequently in the age-group of 10 to 29 years, with no sexual differences.
- 3) Compound odontoma occurred frequently in the upper anterior teeth, while complex odontoma occurred in the lower molar tooth.

- 4) Dimensions measured less than 10 mm<sup>3</sup> as a rule. (the complex type is usually larger than the compound type.)
- 5) The number of denticles found was 19 at most.
- 6) Impacted teeth existed in 45% of all odontoma cases.
- 7) Our own case was a woman, age 30, with odontoma, dimension 18 mm<sup>3</sup> on the upper right anterior, 14 denticles of compound odontoma, and no impacted teeth.

## 緒 言

歯牙腫は、その多種多様な形態及び構造のため、1821年、Oudet<sup>1)</sup>によって報告されて以来、多数の分類がなされてきた。そのため、文献相互で、同一のものについて病名が異なるなど、統計的検索上困難を要する。

著者らは、初診時のX線写真撮影時、偶然見つけた集合性歯牙腫の一症例を経験した。そこで、1927年から1984年までの本邦文献219編をあらためて、集合性・複雑性歯牙腫の2型に分類集計したので文献的考察を加えてここに報告する。

## 症 例

患者：伊○み○子，女，30歳

初診：昭和60年11月21日

主訴：67欠損による咀嚼障害

一般既往歴及び家族歴：特記事項なし

現病歴：初診時のオルソパントモ像で、32根尖部間に、大小不同の歯牙様不透過像の一塊を認めた。同部は、現在まで何ら自覚症状を示さなかつ

たと言う事であった。

現症：身長160 cm，体重53 kg，栄養状態良好で、体格は中等度であった。顔貌は左右対称性で、顔色は健康色。左右顎下リンパ節に腫脹，圧痛は認められなかった（図1，2）。

口腔内所見：32根尖相当部の唇，歯肉，口蓋側に，発赤，腫脹，圧痛等の異常所見は認められなかった。

歯牙所見： $\frac{67}{6}$ 欠損， $\overline{567}$ ， $\overline{321}$ ①はBridge， $\overline{22}$ はMBCrが装着されていた。なお，2にはポストが装着されている。また，3は生活歯，32に打診痛はなく，動揺度は生理的範囲に留まっていた（図3，4）。

X線所見：32の根尖部に、大きさ約1.5×1 cmの類円形の境界明瞭な歯牙様不透過像を示す像が認められ、一部は上顎洞に近接していた。また、根尖部は、2が近心に、3は遠心に湾曲されていた（図5，6）。

臨床検査所見：特に異常値は認めなかった。

臨床診断：歯牙腫

処置及び経過：昭和61年2月4日，静脈鎮静法，



図1：顔貌（正貌）



図2：顔貌（右側貌）



図3：口腔内写真（咬合）

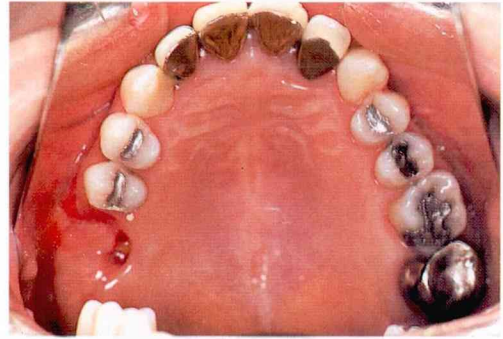


図4：口腔内写真（上顎）

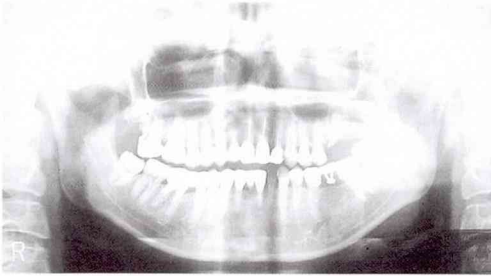


図5：X線写真（パントモ）



図6：X線写真（32部 デンタル）

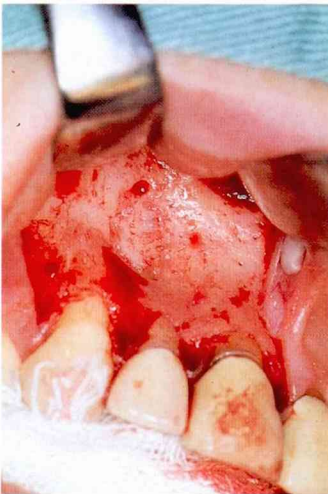


図7：4321部 骨面所見



図8：歯牙様物の包埋状態

局所麻酔下にて、4321唇側歯肉部にノイマン法による切開を加え、歯肉粘膜を剝離した。骨面に異常所見なく(図7)、骨削除により、歯牙腫部に達した。それは薄い被膜に包まれ、海綿骨中に複数の埋伏した歯牙がほぼ一塊として存在していた(図8)。腫瘍は複数塊として摘出されたものであ



図9：摘出直後の病巣部



図10：摘出物所見

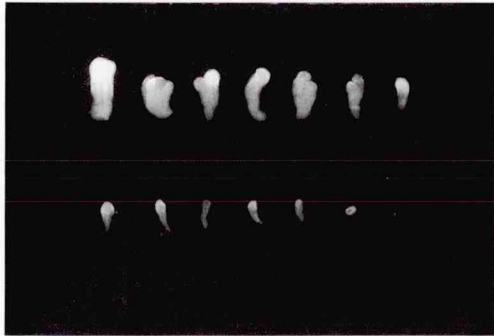


図11：摘出物のX線所見

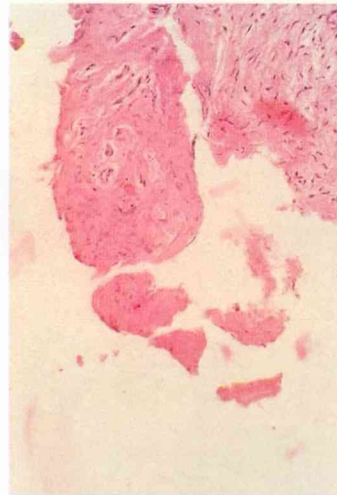


図12：病理組織所見

る。残存を計った<sup>2)</sup>には根端切除術を施し、アマルガム逆根充を行った。なお、同部に上顎洞との交通はみられなかった(図9)。術後1週間、感染予防の目的で抗生物質を投与すると共に、消炎剤を併用し良好な経過をたどったものである。

摘出物所見：1.5×1.0×1.2 cmの凹凸不正な結合組織に被われた腫瘤で、内部に大豆大から粟粒大の大小様々な歯牙様硬固物を14個含んでいた。摘出物のX線所見で、歯冠エナメル質を思わせる不透過像と、歯髓腔と思われる透過像を認めた(図10, 11)。

病理組織所見：被膜部結合織性組織は、骰子細胞の上皮島でセメント質様石灰化物が散在していた(図12)。

以上により、組織学的には集合性歯牙腫と診断したものである。

### 文献的考察

さきに述べたように、歯牙腫は1821年に Oudet が報告して以来、多くの研究、報告がなされている。特に分類に関しては、Broca<sup>2)</sup>を初めとして、Bland-Sutton<sup>3)</sup>、Perthes<sup>4)</sup>、Thoma<sup>5)</sup>、塚野ら<sup>6)</sup>によって、検討が試みられている。

すなわち、歯牙腫の発生時期を基に、Broca は Embryoplastische, Odontoplastische, Koronale, Radikuläre, Zusammengesetzte, Heterotropische Odontom の6種に、Bland-Sutton は細胞性状により瑛瑯器異常、歯嚢異常、歯乳頭異常、全歯牙異常に、更に、Partsch<sup>7)</sup>はその腫瘍成分より軟性歯牙腫と、硬性歯牙腫に分類している。Perthes は臨床的立場で形態分類を行い、単純性歯牙腫と、複合性歯牙腫に分類し、前者を独立性、

付着性歯牙腫に、そしてさらに付着性歯牙腫を歯冠性、歯根性歯牙腫に細分類した。本邦において、塚野は多数の検索の結果、歯牙原基の数により、単原基性歯牙腫と多原性歯牙腫に分けると共に、形態学的に、1) 歯冠歯牙腫、2) 歯根歯牙腫、3) 包歯歯牙腫、4) 癒着歯牙腫、5) 集合歯牙腫、6) 複雑歯牙腫の6型に分類している。また、1950年に発表された American Academy of Oral pathology<sup>8)</sup>の分類では、1) 融合性歯牙腫、2) 集合性歯牙腫、3) 複雑性歯牙腫、4) 拡大性歯牙腫、5) 嚢胞性歯牙腫の5型に分けている。しかし、Bernier<sup>9)</sup>、Shafer<sup>10)</sup>は歯牙腫を複雑性歯牙腫と集合性歯牙腫の2型に分類し、更にこれらの歯牙腫が共存し移行する場合もあるため、Lucas<sup>11)</sup>はこれを複雑性、または、合成歯牙腫 (Composite O.) と呼んでいる。

本邦では、一般に、病理組織学的に複雑性歯牙腫と集合性歯牙腫の2型に分け、臨床的には単独性歯牙腫と複合性歯牙腫に分類されている。

そこで著者らは、1927年から1984年までの本邦文献219編、症例数365例におよぶ歯牙腫の文献すべての分類を改めて行い、再検討を試みた。なお、過去の文献を再集計するにあたり、石灰化を見せる腫瘤中に、大きさ、形態にかかわらず、明らかな歯牙様物を認めた場合は、集合性歯牙腫とし、歯牙様物が存在しないものはすべて、複雑性歯牙腫とした。従って、集合性と複雑性の像が混在する場合は、集合性として取り扱い、その他、エナメル上皮歯牙腫と題した症例および適確な記載が欠如しているものは除外した。なお不明な症例はその他としてまとめてある。

収集して得た歯牙腫の文献365症例を、著者名、発表年度、年齢、性別、発生部位、大きさ(歯牙様物の個数を含む)、埋伏歯の有無そして、臨床及び組織型診断名につき、表中に集計した(表1)。結果は次のごとくである。

組織型別症例数(表2)は、集合性歯牙腫179症例、複雑性歯牙腫149症例で、やや集合性歯牙腫が多く見られている。

年齢、性別発生症例数(表3)は、10~19歳……106症例、20~29歳……109症例を示し、10から20歳代が計215例と、全症例の2/3を占め、最も高い発生率を示していた。なお、性差は、見られなかった。

発生部位別症例数(表4)は、顎別では、上顎が147症例、下顎が149症例でほとんど差がなく、組織別では集合性歯牙腫では上顎前歯部に多く、右側42例、左側36例を示し、複雑性歯牙腫では、下顎大臼歯部に多く、右側34例、左側30例であった。従来より上顎前歯部は過剰歯の好発部位とされているが、この部に、集合性歯牙腫が多く見られている事は興味深い。摘出物の大きさについて見ると、示指頭大以下が約半数(109例)を示している。そして、集合性歯牙腫は示指頭大以下が多いのに比べ、複雑性歯牙腫は拇指頭大から小鶏卵大が最も多く見られる傾向を示していた(表5)。

歯牙様物の個数は、19個以下(50例)に集中している。埋伏歯を伴う歯牙腫の症例は、365症例数中、集合性歯牙腫に90例、複雑性歯牙腫には64例、その他13例、計167例に見られた(表6、7)。

以上のように、1927~1984年までの文献を再検討するにあたって、特に、1927~1960年初期までは、その分類が極めて変化に富んでおり、著者らが設定した、分類項目の枠内にあてはまりにくいものも多く、各時代の分類の一例一例の実態を詳しく検索し、参照しなければならぬ。そして、今後の症例報告において、歯牙腫の姿をより一層明らかにしていく上で、既往、自覚症状、発現年齢、部位、大きさ、歯牙及び周囲との関係、X線所見、手術時所見、病理組織学的検索の詳細な記載が必要であると考えさせられた。

#### ま と め

著者らは、歯牙腫の自験例1例を報告すると共に、本邦の歯牙腫についての文献(1927~1984年)365例を対象に組織型別分類、年齢別、性別、発生部位別、摘出物の大きさ、歯牙様物の個数、埋伏歯の有無について統計的観察を行った。その結果を総括すると以下のようであった。

- (1)集合性歯牙腫は、365例中、179症例、複雑性歯牙腫は、149症例で、集合性歯牙腫の方が多く見られる傾向にあった。なお、その他不明な症例は37例であった。
- (2)歯牙腫は、10~29歳に集中発現し、性差は見られなかった。
- (3)集合性歯牙腫は、上顎前歯部に、複雑性歯牙腫は下顎大臼歯部に好発していた。
- (4)大きさは、10 mm<sup>3</sup>以下、つまり示指頭大以下の

表 1：本邦文献集計表（大きさの単位：cm，D：Denticle の個数）

No.	著者	年代	年	性	部位	大きさ個数	埋伏歯	臨床診断	組織型
1	土屋	1927	13	♂	I	栗実大		合成歯牙腫	
2	"	1927	30	♂	M	栗実大	M 2 歯埋伏	歯牙腫	
3	岩橋	1928	22	♀	I	示指頭大 D×9			複合性歯牙腫
4	山上	1932	19	♂	M	大白歯3個分		硬性歯牙腫	
5	"	1932	26	♀	PM	6~2]大	5 3]欠損	硬性歯牙腫	
6	菅	1933	64	♀	M	拇指頭大		歯牙腫	
7	"	1933	70	♀	M	小指頭大 D×2		歯牙腫	
8	斎藤	1933	66	♂	M		8 埋伏	硬性歯牙腫	
9	恵	1934	12	♀	M				複合性歯牙腫
10	安川	1934	7	♂	I	1.9×1×0.9			複雑性歯牙腫
11	小野	1936	16	♀	M	φ 2		附着性 骨性歯牙腫	
12	濱野	1937	12	♂	M			硬性歯牙腫	独立性歯牙腫
13	小野	1937	49	♀	I	?	3 埋伏	歯牙腫	複合性歯牙腫
14	水野	1937	22	♂	M	小白歯様	8 埋伏	歯牙腫	
15	塚野	1938	12	♀	3 4 5 部	小指頭大 顆粒状密集	3 5 埋伏		多原基性 集合性
16	"		25	♀	6 遠心部	小指頭大	7 8 欠損		単原基性 歯根歯牙腫
17	"		21	♀	7 部	胡桃大	7 欠損		複雑性歯牙腫 (独立型)
18	"		7	♀	C 〃	山桜実大 不正球形 D×5	C 欠損		多原基性 集合性
19	"		66	♂	6 〃		6 欠損		単原基性 歯根歯牙腫
20	"		4	♀	C 〃	小指頭大 D×6			多原基性 集合性
21	"		12	♀	6 E 〃	E 部 小指頭大 6 部 拇指頭大	7 欠損 6 E 欠損		多原基性 複雑性歯牙腫
22	"		36	♀	1 〃	小指頭大			単原基性 歯根歯牙腫
23	"		52	♀	8 〃	拇指頭大			複雑性歯牙腫 (独立型)
24	"		42	♀	7 〃	大豆大			複雑性歯牙腫 (独立型)
25	"		23	♂	4~1 〃		2 歯根部 過剰埋伏		単原基性 包歯性歯牙腫
26	"		45	♂	3 〃	D×10	3 欠損		多原基性 集合性
27	"		26	♂	8 〃	拇指頭大	8 半埋伏歯		単原基性 歯根歯牙腫
28	"		13	♀	8 7 〃 6 〃	7 拇指頭大 6 8 小指頭大	8 7 埋伏歯 6 ?		単原基性 歯根歯牙腫
29	"		23	♀	3 4 〃	卵円形 拇指頭大			複雑性歯牙腫
30	"		24	♂	8 7 〃	胡桃大	8 不完全埋伏		単原基性 歯根歯牙腫
31	"		21	♂	6 〃	小指頭大	6 半埋伏歯		単原基性 歯根歯牙腫
32	"		64	♂	2 〃	拇指頭大			複雑性歯牙腫
33	"		23	♂	3 〃	小指頭大	3 埋伏歯		単原基性 集合性

No	著者	年代	年	性	部位	大きさと個数	埋伏歯	臨床診断	組織型
34	塚野		20	♂	<u>5 4</u> 部	小鶏卵大 2.5×2.3×2.2			複雑性歯牙腫
35	"		31	♂	<u>8</u> "	拇指頭大	<u>8</u> 埋伏歯		単原基 歯根歯牙腫
36	"		16	♂	<u>3 2</u> "	大豆大	<u>3</u> 埋伏歯		多原基 集合性
37	"		27	♂	<u>7</u> "	胡桃大	<u>7</u> 不完全埋伏 <u>8</u> 欠損		単原基 歯根歯牙腫
38	"		42	♀	<u>8</u> "	梅実大			単原基 歯根歯牙腫
39	"		64	♀	<u>8</u> "				単原基 歯根歯牙腫
40	"		63	♀	<u>8</u> "	小指頭大			単原基 歯根歯牙腫
41	"		15	♀	<u>5 4</u> "	小指頭大			単原基 包歯歯牙腫
42	"		56	♀	<u>6</u> "	胡桃大			複雑性 (独立性)
43	"		29	♂	<u>7</u> "	鶏卵大 4.6×2.4×2.2			単原基 歯根歯牙腫
44	"		29	♂	<u>8</u> "	小指頭大	<u>8</u> 不完全埋伏		単原基 歯根歯牙腫
45	"		28	♀	<u>8</u> "	小指頭大			単原基 包歯歯牙腫
46	"		27	♀	<u>1 2</u> "	小指頭大	<u>1</u> 欠損		複雑性 (独立性)
47	"		30	♀	<u>7</u> "	拇指頭大 (3.55 g)			単原基 歯根歯牙腫
48	"		23	♂	<u>8 7</u> "	鶏卵大	<u>8</u> 欠損		多原基 複雑性(癒合)
49	"		9	♂	<u>DC</u> "	拇指頭大 D×80	<u>3</u> 埋伏歯		多原基 集合性歯牙腫
50	"		22	♂	<u>1</u> "	D×10			多原基 集合性歯牙腫
51	"		41	♀	<u>2</u> "	小指頭大			複雑性歯牙腫
52	"		29	♂	<u>8</u> "	拇指頭大 (2.32 g)			単原基 包歯歯牙腫
53	"		25	♀	<u>8 7</u> "	鳩卵大 (3.7 g)	<u>8</u> 欠損		多原基 歯根歯牙腫
54	"		25	♂	<u>8 9</u> "	鳩卵大 (3.51 g)	<u>8 9</u> 癒合		多原基 歯根歯牙腫
55	"		50	♂	<u>7</u> "	胡桃大 (3.7 g)			単原基 複雑性(独立)
56	"		23	♂	<u>8 9</u> "	鳩卵大			多原基 複雑性(癒合)
57	根本	1939	25	♂	<u>I</u> 部	小指頭大		混合性	
58	福島	1939	20	♂	<u>I</u> "	D×18			混合性 複合性歯牙腫
59	林	1940	22	♀	<u>I</u> 部	φ0.6 cm			複雑性歯牙腫
60	田辺	1941	22	♀	<u>M</u> "	雀卵大			複合性歯牙腫
61	平山	1942	16	♀	<u>I</u> "	1.5×1.5×1.5	<u>2</u> 埋伏	齒系腫瘍	複雑性歯牙腫
62	渡嘉敷	1942	19	♂	右側上顎洞	1×1		両側副鼻腔炎	複雑性歯牙腫
63	中村	1943	21	♀	<u>I</u> "	D×18	<u>3</u> 埋伏		複合性歯牙腫
64	千早	1943	25	♂	<u>I</u> "	拇指頭大 D×52	<u>3</u> 埋伏		複合性歯牙腫

No	著者	年代	年	性	部位	大きさと個数	埋伏歯	臨床診断	組織型
65	千早	1943	29	♂	I部	梅実大 D×4	1埋伏		複合性歯牙腫
66	平瀬	1943	35	♂	M〃	1.8×1.7×1.8			複雑性歯牙腫
67	平瀬	1943	22	♀	I〃	1.2×1.0			複雑性歯牙腫
68	柳田	1943	26	♀	M〃	拇指頭大	8埋伏	歯牙腫	複雑性歯牙腫
69	〃	1943	29	♀	M〃	1.0×1.0	+	歯牙腫	複雑性歯牙腫
70	榎本	1944	26	♂	I〃	1.8×1.2×0.9	+		複雑性歯牙腫
71	小林	1945	15	♂	PM〃	胡桃大 1.8×2.5×1.2	3埋伏		複合性歯牙腫
72	塚崎	1945	24	♀	M〃				複雑性歯牙腫
73	荷宮	1948	17	♀	I〃	小指頭大 D×7	3埋伏	歯牙腫	複合性歯牙腫
74	田上	1950	22	♂	M	3.7×2.2×1.3	7+	硬性歯牙腫	複雑性歯牙腫
75	原子	1950	21	♀	M	鶏卵大 4.6×3×2.5			複雑性歯牙腫
76	大谷	1950	24	♂	I			歯牙腫	複合性歯牙腫
77	〃	1950	20	♂	I				複合性歯牙腫
78	岡本	1951	19	♀	I	拇指頭大	3+	歯系腫瘍	複合性歯牙腫
79	三谷	1951	27	♀	I	拇指頭大 2.5×1.5×1.2	1+	歯牙腫	複雑性歯牙腫
80	足立	1952	56	♀	I			歯牙腫	複合性歯牙腫
81	平川	1952	27	♂	M	小鶏卵大	+	歯系腫瘍	複雑性歯牙腫
82	林	1952	20	♀	I	示指頭大1.4×0.9	1+	歯牙腫	複合性歯牙腫
83	北村	1952	17	♂	M	梅実大	7+		複雑性歯牙腫
84	真木ら	1952	29	♀	IM	鶏卵大 拇指頭大	+	歯牙腫	複雑性歯牙腫
85	〃	1952	18	♀	M	拇指頭大	7+	歯牙腫	複雑性歯牙腫
86	小野	1952	13	♀	I			濾胞性嚢胞	複合性歯牙腫
87	多湖	1952	31	♀	M			硬性歯牙腫	
88	内田	1953	25	♂	M	胡桃大 (16.6g)		硬性歯牙腫	
89	黒沢	1953	38	♂	M	小指頭大			複合性歯牙腫
90	長尾	1953	18	♀	M	小鶏卵大	+	硬性歯牙腫	複合性歯牙腫
91	村岡	1953	36	♂	M	3.2×3×2.2	7+	歯牙腫	複雑性歯牙腫
92	宮野	1953	22	♀	I			歯牙腫	複合性歯牙腫
93	寺田	1953	20	♂	M	2.5×2.5			複雑性歯牙腫
94	〃	1953	27	♂	M	3.5×3.5			独立性歯牙腫
95	山崎	1953	31	♀	M	鳩卵大 D×15			複雑性歯牙腫
96	島本ら	1954	61	♀	I	拇指頭大		歯牙腫	複雑性歯牙腫
97	中久喜	1954	21	♀	M	大鶏卵大	+	歯牙腫	複雑性歯牙腫
98	佐藤	1955	7	♀	M				複雑性歯牙腫
99	田長	1955			M				複雑性歯牙腫
100	〃	1955			M				複雑性歯牙腫
101	森永	1955	54	♂	M	3.1×2.7×2.7			複雑性歯牙腫
102	島本	1955	9	♀	M	5×4.5×4		硬性歯牙腫	複合性歯牙腫
103	筒井	1956	22	♀	M	2.5×1			複合性歯牙腫
104	〃	1956	29	♀	M	胡桃大 D×10			複合性歯牙腫
105	〃	1956	14	♀	M	小鶏卵大 2.8×2.8×2	7+		複合性歯牙腫
106	多田	1956	60	♀	M	2×1.5	+		複合性歯牙腫
107	大矢	1956	21	♀	M	梅実大 3×2			複合性歯牙腫
108	〃	1956	45	♀	M	大豆大 1.2×1.1			複合性歯牙腫



№	著者	年代	年	性	部位	大きさと個数	埋伏歯	臨床診断	組織型
109	大矢	1956	45	♀	<u>M</u>	大豆大 1.6×1.7×1.5		歯牙腫	複合性歯牙腫
110	長尾	1956	12	♂	<u>I</u> / <u>I</u> <u>I</u>	D×14 D×38 D×53	$\frac{2\ 1\ 1\ 2}{1}+$		複合性歯牙腫
111	中島	1956	35	♂	<u>I</u> ~ <u>PM</u>		+	硬性歯牙腫	
112	布施	1957	29	♂	<u>I</u>	D×5			複雑性歯牙腫 (独立,多原基)
113	島田	1957	24	♀	<u>I</u>	梅実大 (2.2g)		歯牙腫	複雑性歯牙腫
114	相沢	1957	3	♂	<u>M</u>				複雑性歯牙腫
115	本間	1957	28	♂	<u>M</u>	拇指頭大	過剰歯 +		複雑性歯牙腫
116	恩田	1957	45	♂	<u>M</u>	2.1×1.7×1.3	8] +		複雑性歯牙腫
117	市川	1958	23	♀	<u>I</u>	1.8×1.1×0.7 D×10			複合性歯牙腫
118	松前	1958	54	♂	<u>M</u>	小鶏卵大 2.5×3×1.1			複雑性歯牙腫
119	三宅	1959	10	♂	<u>I</u>		<u>1</u> +	歯牙腫	複合性歯牙腫
120	岩堀	1959	31	♀	<u>I</u>				複雑性歯牙腫
121	〃	1959	9	♀	<u>I</u>		<u>I</u> +	歯牙腫	複合性歯牙腫
122	佐藤	1959	12	♂	<u>I</u>	D×22	過剰歯	歯牙腫	複合性歯牙腫
123	高倉	1959	23	♀	<u>I</u>	1.9×1.1×0.7 D×32	3] 過剰歯	歯牙腫	複合性歯牙腫
124	小郷	1959	69	♂	<u>M</u>	鶏卵大	+	歯牙腫	複雑性歯牙腫
125	高橋	1959	23	♂	<u>M</u>	5×3×2.5	$\frac{7\ 6\ 5}{1}+$	歯牙腫	複合性歯牙腫
126	塩田	1959	19	♂	<u>I</u>	拇指頭大 D×7~8	<u>1</u>	歯牙腫	複合性歯牙腫
127	溝井	1959	18	♂	<u>M</u>	拇指頭大		歯牙腫	複雑性歯牙腫
128	〃	1959	43	♂	<u>M</u>				複雑性歯牙腫
129	東	1960	11	♂	<u>I</u>	D×8	<u>1</u> +		複合性歯牙腫
130	堀田	1960	27	♂	<u>M</u>	3.7×3.7	歯内歯	歯牙腫	複合性歯牙腫
131	泉	1960	17	♀	<u>I</u>	示指頭大 D×250	<u>2 3</u> +	歯牙腫	複合性歯牙腫
132	後藤	1960	17	♀	<u>PM</u>	小指頭大		歯牙腫	複合性歯牙腫
133	長坂	1961	8	♂	<u>I</u>	小指頭大	過剰歯	歯牙腫	複合性歯牙腫
134	〃	1961	13		<u>PM</u>		<u>4</u> +	歯牙腫	複合性歯牙腫
135	河辺	1961	26	♂	<u>M</u>	3×4×3	+		複合性歯牙腫
136	朱雀	1962	59	♀	<u>M</u>   <u>M</u>		-		複雑性歯牙腫
137	那須	1962	19	♂	<u>M</u>	5×4×3	-	歯牙腫	複雑性歯牙腫
138	山田	1962	20	♂	<u>M</u>	小指頭大 1.1×1.1	<u>7</u> +		複雑性歯牙腫
139	木邑	1962	20	♀	<u>I</u>	米粒大~粟粒大 D×7	<u>1</u> +		複合性歯牙腫
140	常葉	1962	30	♂	<u>M</u>	1×2	-		複雑性歯牙腫
141	〃	1962	27	♂	<u>PM</u>	D×3	<u>4</u> +		複合性歯牙腫
142	〃	1962	18	♂	<u>I</u>	4.5×3.0			複雑性歯牙腫
143	古本	1962	25	♀		1.8×1.2×1.3		歯牙腫	複雑性歯牙腫
144	〃	1962	30	♂				根性歯牙腫	
145	〃	1962	42	♀		1.6×1.2×1.4		歯牙腫	複雑性歯牙腫
146	〃	1962	43	♀		2.4×1.7×2.0		歯牙腫	包性歯牙腫
147	〃	1962	40	♂		1.7×1.0×1.4		歯牙腫	包性歯牙腫
148	〃	1962	29	♂		2.2×1.4×1.5		歯牙腫	包性歯牙腫
149	〃	1962	23	♂		2×2×2		歯牙腫	複合性歯牙腫
150	〃	1962	21	♀				歯牙腫	複合性歯牙腫

No.	著者	年代	年	性	部位	大きさと個数	埋伏歯	臨床診断	組織型
151	古本	1962	24	♀		2.1×0.8×0.9		歯牙腫	複雑性歯牙腫
152	〃	1963	11	♂	<u>I</u>		+		複雑性歯牙腫
153	内藤	1963	14	♂	<u>M</u>	3×2.3×2.9	-	歯牙腫	複合性歯牙腫
154	東	1963	40	♂	<u>M</u>	中指頭大 1.3×1.1×1.1	-	歯槽膿瘍	複雑性歯牙腫
155	田中	1964		♀	<u>I</u>	小豆大 0.5×0.7×0.8	-	歯牙腫	独立性歯牙腫
156	〃	1964	26	♂	<u>I</u>	小豆大・小指頭大 D×40	<u>3</u> ] 過剰歯	歯牙腫	複合性歯牙腫
157	本間	1964	15	♀	<u>M</u>	5×3.5×2.5	<u>6</u> ] +		複合性歯牙腫
158	早川	1965	63	♂	<u>M</u>	雀卵大 1.9×1.6×1.2	-	歯牙腫	複雑性歯牙腫
159	〃	1965	53	♀	<u>M</u>	D×8	-	歯牙腫	複合性歯牙腫
160	佐藤	1965	22	♂	<u>M</u>	3×2.5×2.5	<u>6</u> ] +	歯牙腫	複雑性歯牙腫
161	杉山	1965	18	♀	<u>M</u>	そら豆大	+		複合性歯牙腫
162	堀田	1966	31	♂	<u>M</u>	小鶏卵大 3.5×2.5×2.0	<u>8</u> ] 歯内歯	歯牙腫	複雑性歯牙腫
163	堀田	1966	24	♂	<u>I</u>	D×6	<u>2 3</u>	歯牙腫	複合性歯牙腫
164	〃	1966	53	♀	<u>M</u>	拇頭大 1.7×1.5×1.3	-	歯牙腫	双胎性歯牙腫
165	〃	1966	50	♀	<u>M</u>	拇指頭大 1.6×1.4×2.0	-	歯牙腫	双胎性歯牙腫
166	〃	1966	73	♀	<u>M</u>	小指頭大 1.3×1.2×1.4	-	歯牙腫	双胎性歯牙腫
167	松崎	1966	31	♂	<u>M</u>	拇指頭大 4×3×2	<u>6 7 8</u>	歯牙腫	複雑性歯牙腫
168	藤木	1966	19	♂	<u>I</u>	小指頭大	<u>3</u> ] ]	歯牙腫	複合性歯牙腫
169	伴	1966	37	♂	<u>PM</u>	3.4×2.6×3.2			複雑性歯牙腫
170	緒方	1966	13	♂	<u>I</u> ] ]				複合性歯牙腫
171	〃	1966			<u>M</u>		-		複雑性歯牙腫
172	大塚	1966	17	♀	<u>PM</u>	D×数個	-	腫瘍	複合性歯牙腫
173	佐藤	1966	17	♀	<u>I</u> ] ]	小指頭大 D×7	-	歯牙腫	複合性歯牙腫
174	川平	1966	17	♂	<u>M</u>	拇指頭大 3×1.5	-	歯牙腫	複合性歯牙腫
175	大塚	1966	26	♂	<u>M</u>	23 g	歯内歯		複雑性歯牙腫
176	〃	1966	32	♂	<u>M</u>	17.5 g			複雑性歯牙腫
177	〃	1966	24	♂	<u>I</u> ] ]				複合性歯牙腫
178	遠藤	1967	9	♂	<u>I</u> ] ]		-		複合性歯牙腫
179	西坂	1967	15	♀	<u>I</u> ] ]	示指頭大(3 g) 1.5×1.5×1.5 D×3	<u>3</u> ] ]	歯牙腫	複合性歯牙腫
180	〃	1967	59	♀	<u>M</u> ] ]	1.5×1.6(2 g)	-	独立性 硬性歯牙腫	複合性歯牙腫
181	青山	1967	16	♂	<u>I</u> ] ]	3×2.5×2.5	-	歯牙腫	複合性歯牙腫
182	岡野	1968	7	♀	<u>M</u> ] ]		-	エナメル上皮 腫	複合性歯牙腫
183	福岡	1968	43	♀	<u>I</u> ] ]	小指頭大 D×23	<u>1</u> ] ]	歯牙腫	複合性歯牙腫
184	亀山	1968	27	♂	<u>I</u> ] ]	示指頭大 D×37	-	歯牙腫	複合性歯牙腫
185	久野	1968	38	♂	<u>I</u> ] ]	D×50	-		複合性歯牙腫
186	西村	1968	48	♂	<u>I</u> ] ]	米粒～粟粒大 D×5	-	歯牙腫	複合性歯牙腫

No	著者	年代	年	性	部位	大きさと個数	埋伏歯	臨床診断	組織型
187	"	1968	21	♀	I	米粒~粟粒大 D×15		歯牙腫	複合性歯牙腫
188	"	1968	12	♂	I	D×19		歯牙腫	複合性歯牙腫
189	"	1968	27	♀	I	D×38		歯牙腫	複合性歯牙腫
190	"	1968	32	♀	I	米粒大 D×8		歯牙腫	複合性歯牙腫
191	"	1968	32	♂	I	D×4		歯牙腫	複合性歯牙腫
192	浜田	1968	17	♂	M	拇指頭大 2.5×1.5×1.7	-	歯牙腫	複合性歯牙腫
193	丸茂	1968	21	♀	M	小胡桃大	8		複雑性歯牙腫
194	鈴木	1968	19	♀	I		-	歯牙腫	複合性歯牙腫
195	野井倉	1968	21	♀	I	小指頭大	-	歯牙腫	複雑性歯牙腫
196	坂口	1969	24	♂	M		6+		複合性歯牙腫
197	宇治	1969	54	♀	M				複合性歯牙腫
198	松井	1969	20	♀	M	拇指頭大 2.5×1.5×1.2	-	歯牙腫	複合性歯牙腫
199	高橋	1969	21	♀	I	鶏卵大 D×60	-		複合性歯牙腫
200	"	1969	23	♀	PM	小指頭大 D×10	3		複合性歯牙腫
201	伴	1969	28	♂	I		3		複合性歯牙腫
202	増田	1969	14	♂	I	拇指頭大 D×32	-	歯牙腫	複合性歯牙腫
203	池田	1969	10	♀			a1	歯牙腫	複雑性歯牙腫
204	瀬尾	1970	21	♂	M	鶏卵大	8埋伏歯	歯牙腫	複雑性歯牙腫
205	小笠原	1970	13	♂	M	胡桃大	-	歯牙腫	複合性歯牙腫
206	"	1970		♂	I	拇指頭大	+		複合性歯牙腫
207	滝川	1971	45	♂	M	胡桃大 3×2×1.7	6	歯牙腫	複雑性歯牙腫
208	"	1971	26	♂	M	小鶏卵大 3.6×2.8×3.0	7	歯牙腫	複雑性歯牙腫
209	渡辺	1971	3	♀	I		c埋伏歯		複合性歯牙腫
210	両川	1971	5	♂	I		-	歯牙腫	複合性歯牙腫
211	加子	1971	19	♂	M	5×4×3	-	歯牙腫	複雑性歯牙腫
212	"	1971	51	♀	M	2×2×1	-	歯牙腫	複雑性歯牙腫
213	"	1971	53	♂	M	4×3×3	-	歯牙腫	複雑性歯牙腫
214	"	1971	43	♂	M	3×2×2	-	歯牙腫	複雑性歯牙腫
215	"	1971	16	♀	I	1×0.5×0.5	-	歯牙腫	複雑性歯牙腫
216	"	1971	21	♀	I	1.5×1.5×1	-	歯牙腫	複雑性歯牙腫
217	"	1971	14	♂	I	3×3×3	3 1)	歯牙腫	複雑性歯牙腫
218	"	1971	19	♀	M	鶯卵大 7×5×3	7)	歯牙腫	複雑性歯牙腫
219	"	1971	9	♀	M	2×2×1	6)	歯牙腫	複雑性歯牙腫
220	"	1971	13	♂	I	2×2×2	1)	歯牙腫	複合性歯牙腫
221	"	1971	19	♀	I	1×1×1	3	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
222	"	1971	11	♂	I	1.5×1.5×1	1	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
223	"	1971	12	♀	I	1.5×1×1	1	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
224	"	1971	18	♀	I	1.5×1.5×1.5	1)	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
225	"	1971	5	♀	I	2×2×2	2)	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
226	"	1971	9	♀	I	2×1.5×1.5	2)	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
227	"	1971	27	♂	I	2×1.5×1.5	3)	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
228	"	1971	23	♀	I	1.5×1.5×1	2 3	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
229	"	1971	39	♀	PM	1×0.5×0.5	過剰歯+	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
230	加子	1971	24	♂	M	1.5×1×1	8	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫

No	著者	年代	年	性	部位	大きさと個数	埋伏歯	臨床診断	組織型
231	〃	1971	12	♀	I	2×2×1	2	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
232	〃	1971	21	♂	I	1×1×1	3	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
233	〃	1971	68	♀	I	2×2×1.5	3	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
234	〃	1971	16	♂	I	2×2×2	2 3	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
235	〃	1971	19	♀	I	2×2×1	3 2	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
236	〃	1971	45	♂	I	1×1×1	3	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
237	〃	1971	50	♀	I	2×1.5×1	3	複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
238	新国	1972	22	♂	M	鶏卵大	大白歯+	歯牙腫	複雑性歯牙腫
239	岡田	1972	24	♂	PM	2.5×3.5	-	歯牙腫	複合性歯牙腫
240	兼松	1973	10	♂	I I		-	膿瘍	複合性歯牙腫
241	常葉	1973	19	♀	M	2.5×1.7	8	歯牙腫 濾胞性歯嚢胞	複雑性歯牙腫
242	下野	1973	21	♀	I	拇指頭大 D×73	-	歯牙腫	複合性歯牙腫
243	二瓶	1973	18	♀	I	2.1×2.0×2.0 D×106	3	歯牙腫	複合性歯牙腫
244	田中	1973	19	♀	M	小鶏卵大 3.5×4.0×3.0	6		複雑性歯牙腫
245	長谷川	1974	12	♂	I	胡桃大 2.5×2.0×1.5	2 3	濾胞性歯嚢胞	複合性歯牙腫
246	金子	1974	43	♀	I	梅実大	3	歯牙腫	複合性歯牙腫
247	〃		58	♂	M	胡桃大	+	歯牙腫	複雑性歯牙腫
248	中村	1974	30	♀	M	小鶏卵大 4×2×2	-	歯牙腫	複雑性歯牙腫
249	新国	1974	15	♂	M		+	歯牙腫	複雑性歯牙腫
250	山本	1974	20	♂	M	鳩卵大 2.5×3.5×3.0	-	歯牙腫	複合性歯牙腫
251	中畑	1974	8	♂	M	1.5×1.0×1.0	6	歯牙腫	複雑性歯牙腫
252	〃		9	♀	I	D×20	3	歯牙腫	複合性歯牙腫
253	〃		9	♀	M	2.5×1.5×1.0 D×10	6	歯牙腫	複合性歯牙腫
254	瀧川	1974	30	♀	M	4×2×2		歯牙腫	複雑性歯牙腫
255	森本	1974	48	♀	I	小指頭大	+	歯牙腫	複合性歯牙腫
256	〃		21	♂	M		6	歯牙腫	複合性歯牙腫
257	〃		20	♂	M	拇指頭大	6	歯牙腫	複合性歯牙腫
258	〃		18	♀	I	胡桃大	3	歯牙腫	複合性歯牙腫
259	森	1974	37	♂	I	小指頭大 D×5	3	歯牙腫	
260	〃		22	♀	M	2.2×2×1.2 (4.5 g)	7	歯牙腫	
261	〃		51	♂	I	1.75×0.9×1.1 (3 g)	3	歯牙腫	
262	上田	1974	27	♀	I	0.25 g D×5		歯牙腫	複合性歯牙腫
263	〃		19	♀	M	2.1×1.8×1.2 (4.1 g)		歯牙腫	複雑性歯牙腫
264	高橋	1974	31	♂	M	8×4倍大	8	歯牙腫	複雑性歯牙腫
265	金井	1975	54	♂	I I	鳩卵大 D×98		複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
266	〃		14	♂	I	小指頭大	3	嚢胞性歯牙腫	複合性歯牙腫
267	大野	1975	9	♀	I	D×21	1	集合性歯牙腫	複合性歯牙腫
268	〃		16	♀	M	3.5×2.5	8		複雑性歯牙腫
269	板垣	1975	43	♀	M	3×2×2			複雑性歯牙腫
270	岡本	1975	17	♀	M	3.9×2.6×2.7 (21.4 g)	+	歯牙腫	複雑性歯牙腫

No	著者	年代	年	性	部位	大きさと個数	埋伏歯	臨床診断	組織型
271	茂木	1975	13	♂	I	小指頭大	3		複雑性歯牙腫
272	村上	1975	13	♀	I	拇指頭大 D×39	3	歯牙腫	複合性歯牙腫
273	"		14	♂	I	拇指頭大 D×44	3	歯牙腫	複合性歯牙腫
274	永山	1975	41	♂	PM				複合性歯牙腫
275	"		28	♂	M				複合性歯牙腫
276	内田	1975	31	♀	I	D×10	3		複合性歯牙腫
277	"		12	♂	I	D×10	-		複合性歯牙腫
278	田縁	1976	12	♂	M	2.5×1.5×1.2	6		複雑性歯牙腫
279	村松	1976	32	♂	I				複合性歯牙腫
280	北村	1976	43	♂	M				複雑性歯牙腫
281	阿部	1976	16	♀	M	66 g			複雑性歯牙腫
282	永井	1976	13	♂	PM		6		複合性歯牙腫
283	堀田	1976	19	♀	M	5×5		歯牙腫	複雑性歯牙腫
284	"		10	♂	I I	D×12		歯牙腫	複合性歯牙腫
285	坪田	1977	8	♂	I	D×12	2 1 欠損		複合性歯牙腫
286	黒柳	1977	4	♂	I	D×3	1		複合性歯牙腫
287	原	1977	8	♀	M	2×2×1.5			複雑性歯牙腫
288	菱川	1977	31	♂	I		3		複合性歯牙腫
289	平林	1977	13	♂	PM		5 3		複雑性歯牙腫
290	新国	1977	57	♂	M	2.5×3×2.3		歯牙腫	複雑性歯牙腫
291	谷口	1977	8	♂	I		2	歯牙腫	複合性歯牙腫
292	関保	1977	30	♀	PM	4×2×2			複雑性歯牙腫
293	"		30	♂	PM	3×2.5×2			中間型 (複雑・複合)
294	木村	1977	41	♂	M			歯牙腫	
295	宮城	1977	8	♂	I	D×63		歯牙腫	複合性歯牙腫
296	小野	1978	24	♂	M	5×3×2.5	8		複雑性歯牙腫
297	河田	1978	27	♀	I	D×21~80			複合性歯牙腫
298	"		9	♂	I				複合性歯牙腫
299	"		22	♀	I				複合性歯牙腫
300	内田	1978	12	♀	M		7		複雑性歯牙腫
301	本田	1978	14	♀	I	D×9	3		複合性歯牙腫
302	"		11	♀	I	D×2			複合性歯牙腫
303	佐々木	1978	1	♂	I	1.2×1×1	+		複合性歯牙腫
304	中嶋	1978	13	♂	M	4×4×3	6	骨腫 疑い	複合性歯牙腫
305	園山	1978	12	♀	M	3.7×3.1×2.3 (20 g)	7	歯牙腫	複雑性歯牙腫
306	森	1978	7	♂	I		(I)に付着)		複雑性歯牙腫
307	児玉	1978	12	♂	M	2.5×1.5×1.2 (5.1 g)	6 様包埋	歯牙腫 濾胞性歯嚢胞	複雑性歯牙腫
308	鈴木	1978	9	♂	I I	大小 (0.8~0.1) D×12		歯牙腫	複合性歯牙腫
309	山崎	1978	63	♀	M				複雑性歯牙腫
310	"		41	♀	PM				移行型 (複合~複雑)
311	佐久間	1978	22	♀	M	2.8×1.5×1.5		歯牙腫	複雑性歯牙腫
312	片山	1979	21	♂	M	5×4×3		歯牙腫	複雑性歯牙腫
313	沼田	1979	39	♀	I	小指頭大 1 cm 大		歯牙腫	複雑性歯牙腫

No	著者	年代	年	性	部位	大きさと個数	埋伏歯	臨床診断	組織型
314	富永	1979	4	♂	I	1.5×1×1.5 D×21	a]	歯牙腫	複合性歯牙腫
315	砂川	1979	37	♂	M (上顎洞)	4×3×2 (20.4g)	2 歯牙 +	歯牙腫	複雑性歯牙腫
316	瀧川	1979	24	♂	M	5×3×2.5	8	複雑性歯牙腫	複雑性歯牙腫
317	松村	1979	15	♀	M	2×1.8×1.5	7 6]	歯牙腫	複雑性歯牙腫
318	石川	1980	3	♀	I	小指頭大 D×27		複合性歯牙腫	複合性歯牙腫
319	呉屋	1980	19	♂	M	1.3×1.4×2.1	(7)に付着)	歯牙腫	複雑性歯牙腫
320	石田	1980	56	♂	M	2.3×1.8×1.5		複雑性歯牙腫	複雑性歯牙腫
321	岡原	1980	8	♀	I			歯牙腫	
322	清水	1980	11	♀	I		3 4	歯牙腫	複合性歯牙腫
323	大森	1980	7	♂	I	1.4×1.6×1.2			複合性歯牙腫
324	横山	1980	2	♀	I	0.5×0.6×0.5 D×2		歯牙腫	
325	篠崎	1980	13	♂	M	拇指頭大 (20g) D×2		歯牙腫	複雑性歯牙腫
326	"		8	♀	I	D×40数コ		集合性歯牙腫	複合性歯牙腫
327	猪狩	1980	20	♀	PM	4×2.5×2		石灰化歯原性	複合性歯牙腫
328	有田	1981	8	♀	I	D×7	c]		複合性歯牙腫
329	鳥取	1981	29	♀	I		3		複合性歯牙腫
330	野堀	1981	38	♀	M				複雑性歯牙腫
331	西岡	1981	5	♀	I	小豆大 D×6	a]		複合性歯牙腫
332	松村	1982	5	♂	M			歯牙腫	複合性歯牙腫
333	上田	1982	16	♂	PM		PM		複雑性歯牙腫
334	山口	1982	10	♂	I	小指頭大 D×40	3 2]		複合性歯牙腫
335	畑	1982	4	♀	I	D×3			複合性歯牙腫
336	"		6	♀	M	D×9			複合性歯牙腫
337	"		8	♂	I	D×63			複合性歯牙腫
338	倉内	1982	39	♀	PM	巨大 (6.5×4.5)		歯牙腫	複雑性歯牙腫
339	中山	1982	16	♀	PM	3.8×2.5×2.5	6]	歯牙腫	複雑性歯牙腫
340	板松	1982			I		3	歯牙腫	
341	竹下	1983	16	♀	M	5.5×3×3	7 8欠損	歯牙腫	複雑性歯牙腫
342	平川	1983	10	♂	M		6		複合性歯牙腫
343	今浪	1983	15	♂	I	1.1×1.1×1.6 D×40数コ	1	歯牙腫	複雑性歯牙腫
344	後藤	1983	56	♀	6	1.5×2×0.8			複雑性歯牙腫
345	堀内	1983	16	♂	I				複合性歯牙腫
346	"		8	♀	I				複合性歯牙腫
347	"		11	♂	PM		5]		複合性歯牙腫
348	"		33	♀	I				複合性歯牙腫
349	黒田	1983	8	♀	I	小指頭大		歯牙腫	
350	"		16	♀	M	拇指頭大			
351	河野	1983	13	♂	I	D×21			再発性 複合性歯牙腫
352	豊嶋	1983	11	♀	PM	拇指頭大 D×84	3	歯牙腫	複合性歯牙腫
353	"		8	♀	I	D×37			複合性歯牙腫
354	"		28	♀	I	D×18			複合性歯牙腫
355	平元	1983	14	♂	M M		7]		複雑性歯牙腫
356	柴田	1983	6	♀	I	D×10数コ		歯牙腫	複合性歯牙腫

No	著者	年代	年	性	部位	大きさと個数	埋伏歯	臨床診断	組織型	
357	〃		30	♀	I	拇指頭大	+	歯牙腫	複雑性歯牙腫	
358	〃		12	♀	I	D×4	2		複合性歯牙腫	
359	中原	1983	5	♀	I	D×8	c		複合性歯牙腫	
360	〃		6	♀	M	D×11	E		複合性歯牙腫	
361	小野	1984	16	♀	I	胡桃大	2		歯牙腫	複合性歯牙腫
362	上原	1984	6	♂	I		+			複合性歯牙腫
363	堀	1984	20	♂	M	2.5×2.7×2.5	7			複雑性歯牙腫
364	〃		17	♂	M	1.5×2.0×1.8	7			複雑性歯牙腫
365	〃		29	♂	PM	3.7×4×3	8 5			複雑性歯牙腫

表2：組織型別症例数

年代	Compound	Complex	その他
1927 ↓ 1939	12	31	15
1940 ↓ 1949	9	6	
1950 ↓ 1959	20	31	4
1960 ↓ 1969	46	21	8
1970 ↓ 1979	65	45	4
1980 ↓ 1984	27	15	6
計	179	149	37

表3：年齢・性別発生症例数

性別 年齢	♂	♀	計
0～9	20	27	47
10～19	54	52	106
20～29	59	50	109
30～39	21	16	37
45～49	12	12	24
50～59	9	12	21
60～69	6	7	13
70～79		2	2
計	181	178	359

年齢、性別不明 6例

表4：発生部位別症例数

	発生部位	Compound		Complex		計
		右	左	右	左	
上顎	大白歯部	5	2	17	15	147
	小白歯部	4	4	2	2	
	前歯部	42	36	12	6	
下顎	前歯部	17	13	3	5	149
	小白歯部	4	14	4	1	
	大白歯部	14	10	34	30	
計		86	79	72	59	

不明 69

表5：大きさ別症例数

大きさ	Compound	Complex	その他	計
10mm <sup>3</sup> 以下 (示指頭大以下)	52	37	20	109
10～30mm <sup>3</sup> (拇指頭大 ～小鶏卵大)	17	46	16	77
30mm <sup>3</sup> 以上 (鶏卵大以上)	3	17	3	23

不明 162

ものが多かった。なお、集合性と複雑性歯牙腫の比較では、複雑性歯牙腫のほうが大きい傾向にあった。

(5)腫瘍内の歯牙様物の個数は19個以下のものが大半であった。

(6)歯牙腫の他に埋伏歯の存在を認めたものは全体の約45%であった。

(7)自験例1症例は、30歳、女性の上顎右側前歯部

表6：歯牙様物の個数別症例数

個数	Compound	Complex
10以下	29	3
10~19	16	2
20~29	7	
30~39	7	
40~49	4	1
50~59	4	
60~69	2	
70~79	1	
80~89	3	
90~99	1	
100以上	2	

表7：埋伏を伴う症例数

Compound	Complex	その他	計
90	64	13	167

に発生した大きさ18mm<sup>3</sup>、14個の歯牙様物を含む集合性歯牙腫であった。なお、埋伏歯の存在は認められなかったものである。

## 文 献

- Oudet, M. (1821) 塚野 (1937) より引用
- Brocá, P. P. (1869) Recherches sur un nouveau groupe de tumeurs designess sousle nomd'odontomes. 1, 350. P. Asselin, Paris.
- Sutton, J. B. (1888) Odontomes. Tr. Odont. Soc. Great Britain, 20: 32-87.
- Perthes, G. (1907) die Veletzungen und krankheiten der Kiefer. F. Euke, Stuttgart. 塚野 (1937, 1942) より引用.
- Thoma, K. H. (1970) Oral Pathology, 6th ED, 497-501. Mosby, Co. ST. Louis.
- 塚野多四郎(1937)「オドントーム」(硬性歯牙腫)の60例に関する臨床的研究. 日歯医学会誌, 85: 39-72, 86: 192-239.
- Partsch, C. R. (1927) Die Chirurgischen erkrankungen der Mundhöhle der Zähne und Kiefer verlag. von J. F. Bergmann.
- Robinson, H. B. G. (1952) Proceedings of the fifth anual meeting of the American Academy of Oral Pathology. Oral Surg. 5: 177-178.
- Bernier, J. L. (1959) The man gement of oral disease, 2nd ed., 607-617. Mosby, St Louis.
- Shafer, W. G. (1958) A Textbook of Oral Pathology, 2nd ed., 229-233. Saunders, Philadelphia and London.
- Lucas, R. B. (1972) Pathology of Tumours of the Oral Tissues, 77-84. J. & A. Churchill Ltd, London.
- 石川梧郎, 秋吉正豊 (1971) 口腔病理学II, 改装増補2刷, 955-960, 永末書店, 京都.
- 土屋英信 (1927) 歯牙腫ノ二例. 口病誌, 1: 32-35.
- 岩橋章 (1928) 複合歯牙腫ノ一例. 口病誌, 2: 250-254.
- 山上甚三郎, 小野文彦 (1932) 「オドントーム」ニ就テ. 口病誌, 5: 157-182.
- 管實 (1933) オドントームの二例. 口科誌, 5: 179.
- 斉藤貴 (1933) 埋伏歯及び硬性歯牙腫の臨床例. 臨床歯科, 5: 18-26.
- 恵平治 (1934) 稀有なる歯牙腫の一例. 口科誌, 6: 239.
- 安川利勝 (1934) 乳歯に現れたる歯牙腫の一例. 日本之歯界, 197: 960.
- 小野文彦 (1936) 附着性骨様歯牙腫. 齒科医学, 7: 38.
- 濱野喜太郎 (1937) 硬性歯牙腫の一臨床に関する記載. 大日齒科, 84: 299.
- 小野文彦(1937)複合性歯牙腫. 口科誌, 5: 775.
- 水野杏平(1937)歯牙腫の一例. 口病誌, 11: 263.
- 根本潤一郎 (1939) 混合性歯牙腫の一例. 日本鉄道医協会雑誌, 25: 585.
- 福島玄一 (1939) 混合性複合性歯牙腫の一例並に基組織学的検索. 大日齒科, 94: 163.
- 林了(1940)歯牙腫の一例. 日本之歯界, 243: 90.
- 田辺美幾子 (1941) 根歯牙腫の1例. 東洋女齒校友特輯號, 73.
- 平山正健 (1942) 濾胞性歯牙囊腫を伴う興味ある「歯牙腫」の症例. 臨床歯科, 14: 1225-1234.
- 渡嘉敷一郎 (1942) 上顎貧底のOdontomの一例. 耳喉, 15: 1039-1043.
- 中村杏一郎, 松川男児 (1942) 複合性「歯牙腫」の一症例. 大日耳鼻, 48: 1333.
- 千早小四郎 (1943) 硬性歯牙腫の二例. 齒月報, 23: 66-73.
- 平瀬重治 (1943) 歯牙腫2例に就いて. 齒科医学, 13: 265-271.
- 柳田脩 (1943) 歯牙腫の二例. 口病誌, 17: 271-274.
- 榎本太郎 (1944) 歯牙腫並びに斑瑯腫様上皮巢を含んだ上顎嚢胞の1例. 齒誌, 1: 164.
- 小林峻 (1945) 複合性歯牙腫. 齒誌, 2: 7-12.
- 塚崎直敏 (1945) 複雑性歯牙腫の1例. 満州齒科医学会会誌, 16, 17: 81
- 荷宮文夫 (1948) 硬性歯牙腫の1例. 齒誌, 4:



- 321—323.
- 38) 田上喜也, 波多野弘, 佐藤栄子(1950)オドントームの一症例. 歯界展望, 7 : 589—590.
- 39) 原子謙二(1950)巨大な硬性歯牙腫の1例. 歯誌, 7 : 410—411.
- 40) 大谷強(1950)臨床上稀有なるオドントームの症例. 交通医学, 3 : 49.
- 41) 岡本治(1951)2ケの濾胞性歯牙嚢胞とオドントームを含む稀有なる症例. 臨歯, 192 : 37.
- 42) 三谷光, 和中光次(1951)前歯に現われたオドントームの一症例. 歯界展望, 8 : 262.
- 43) 足立丕(1952)歯牙腫の1例に就いて. 通信医学, 4 : 324.
- 44) 平川正輝, 梶谷貫大(1952)極めて稀有なる歯系混合腫瘍の1例. 九州歯会誌, 6 : 18—24.
- 45) 林一, 甲斐雅喜, 松野新(1952)複合性オドントームの一症例. 北歯医師会誌, 6 : 58.
- 46) 北村実雄, 島田孝(1952)歯牙腫と濾胞性歯牙嚢胞が相接して発生していた症例について. 歯学報, 52 : 103—108.
- 47) 真木亮二, 吉屋勝(1952)歯牙腫の2例. 歯誌, 8 : 325—327.
- 48) 小野繁患(1952)臨床的には濾胞性歯牙嚢胞と思われたが組織検査の結果オドントームであった症例. 倉敷中央病院年報, 2 : 132.
- 49) 多湖健治(1952)硬性歯牙腫の1例. 通信医学, 4 : 276.
- 50) 内田晴雄, 近藤三雄(1953)稀に見るオドントーム(有孔)の1症例. 口科誌, 2 : 198.
- 51) 黒沢佐太郎(1953)歯牙腫の一例. 日歯医師会誌, 6 : 193—195.
- 52) 長尾喜景, 高橋庄二郎, 森田多賀雄(1953)上顎洞内に充満した硬性歯牙腫の1例. 歯学報, 53 : 816—820.
- 53) 村岡好一(1953)巨大な Odontom の1例. 歯誌, 9 : 33—35.
- 54) 宮野昇, 新田孟(1953)硬性歯牙腫の一例. 歯医学, 16 : 78—81.
- 55) 寺田常一(1953)オドントーム追報. 日口外誌, 2 : 199.
- 56) 山崎長夫(1953)歯牙腫の1例. 通信医学, 5 : 607.
- 57) 島本禎三, 辻本信輝(1954)複雑歯牙腫の1症例. 日歯医師会歯医学会誌, 5 : 77.
- 58) 中久喜喬, 森田多賀雄, 大森清弘(1954)下顎骨切除を必要とした巨大な複雑歯牙腫の一例. 歯学報, 54 : 438—442.
- 59) 佐藤武, 近藤三千雄, 中島勝秀, 古橋楠隆, 陳文根, 栗屋豊(1966)上顎右側犬歯欠損部に認められた複合性歯牙腫の1例. 臨歯, 254 : 27—28.
- 60) 田長俊郎, 定森繁(1955)Odontomaの障碍によると思われる下顎埋伏大白歯の困難な抜去及び Odontoma 摘出の2症例について. 通信医学, 7 : 488.
- 61) 森永泰信(1955)Odontomaの1例. 通信医学, 7 : 488.
- 62) 島本忠明(1955)Odontomaの1例. 日外会誌, 56 : 396.
- 63) 筒井英夫, 吉田幸子, 藤岡照雄(1955)3例の歯牙腫について. 日口外誌, 1 : 60—62.
- 64) 多田一夫, 本浪浩, 山元裕次(1956)上顎に発生せる Odontoma の一症例について. 臨歯, 214 : 42.
- 65) 大矢謙造, 小松欣一郎(1956)オドントームの3例. 日口外誌, 2 : 67—69.
- 66) 長尾喜景, 山本義茂, 九津見侃, 宮本達彌(1956)上下顎に多発した集合性歯牙腫の一例. 日口外誌, 2 : 82—84.
- 67) 中島賢, 高橋正行, 田村巖(1956)埋伏歯を伴へる歯牙腫の症例. 広島医学, 9 : 273.
- 68) 布施勝司(1957)複雑性歯牙腫(独立性, 多原基性)の1例. 通信医学, 9 : 982.
- 69) 島田宗武, 橋本栄, 鮎瀬昭彦, 杉之内芳郎, 青木光也, 峯田拓彌(1957)上顎前歯部に歯牙腫と2個の濾胞性歯牙嚢胞とが相接して発生して居た1例. 歯科学報, 57 : 118.
- 70) 相沢一男, 祝原豊章, 城山剛彦, 高須淳, 扇谷太一(1957)乳歯族に発生せる歯牙腫の一例. 日歯医師会誌, 10 : 92—94.
- 71) 本間藤彦(1957)上顎臼歯部に発生せる歯牙腫の一例. 歯学報, 57 : 353—354.
- 72) 恩田一呂, 柳楽達雄, 鈴木隆(1957)骨組織を含む Odontoma の1例. 日口外誌, 3 : 170—171.
- 73) 松前静, 柳楽達雄, 葛西米市, 西村登(1958)Odontomaの1例. 歯医学, 21 : 1208—1211.
- 74) 市川貢, 坪田不二雄, 五明昭典, 高倉和夫(1958)複合性歯牙腫の1例. 口科誌, 7 : 452.
- 75) 三宅貫一, 出崎喜充, 菅野大和(1959)上顎前歯部に見られた複合性歯牙腫の1症例. 広島医学, 7 : 1895—1899.
- 76) 岩堀正昭(1959)歯牙腫2例. 阪大歯誌, 4 : 1084.
- 77) 佐藤弘, 長坂甫(1959)複合性歯牙腫の1例. 口科誌, 8 : 282.
- 78) 高倉和夫, 坪田不二雄, 市川貢, 五明昭典(1959)複合性歯牙腫の1例. 口病誌, 26 : 355—359.
- 79) 小郷雅暉, 吉田豊作, 細原広, 多名部金徳, 小林三郎, 佐伯孝子(1959)高齢者に発見された歯牙腫の1例. 歯科医学, 22 : 2509—2512.
- 80) 高橋健次郎, 塩田重利, 久保田康耶(1959)巨大なる歯牙腫の1例. 日口外誌, 5 : 62—64.
- 81) 塩田正久, 北村久弥, 森享三郎(1959)上顎前歯部に発生した複合性歯牙腫の1例について. 日口外誌, 5 : 135—136.
- 82) 溝井三代次, 大内隆, 岡本源一, 原亨, 吉田豊作, 松岡博(1959)歯牙腫2例について. 歯科医学, 22 : 1504—1507.

- 83) 東勇, 福原達郎 (1960) 下顎切歯部の複合性歯牙腫の1例. 口病誌, 27: 464-468.
- 84) 堀田一 (1960) 巨大な歯牙腫と埋伏歯内歯. 歯界展望, 17: 787-788.
- 85) 泉広次, 工藤逸郎, 牛山恒夫, 鈴木哲雄, 月村嘉男, 大綱学 (1960) 複合性歯牙腫の1例. 歯月報, 34: 624-625.
- 86) 後藤清一, 松野精夫 (1960) 混合性複合性歯牙腫の一例. 北歯医師会誌, 15: 9-10.
- 87) 長坂甫, 竹内弘毅, 山本快男, 平林潔, 佐藤弘 (1961) 複合性歯牙腫の二例. 臨歯, 231: 29-32.
- 88) 河辺義孝, 藤井尚子 (1961) 巨大なる複合性歯牙腫の1例. 日耳鼻, 64: 351.
- 89) 朱雀直道, 翁玉香 (1962) 下顎両側臼歯部に発生した歯牙腫の1例. 日口外誌, 8: 219-220.
- 90) 那須英司, 生田信孝, 大野喜久, 清遠毅 (1962) 巨大なる歯牙腫の1例について. 口病誌, 29: 187-191.
- 91) 山田孝良, 野村義隆 (1962) 歯牙腫の1例. 歯科医学, 25: 101-104.
- 92) 木邑知義, 林伸伍 (1962) 上顎前歯部に発生した複合性歯牙腫の1例. 日口外誌, 8: 219.
- 93) 常葉信雄 (1962) 歯牙腫の三例. 歯界広報, 10: 12-14.
- 94) 古本克磨 (1962) 歯系腫瘍に関する臨床的並びに病理組織学的研究. 九州歯会誌, 15: 115-122.
- 95) 古本克磨, 梶山稔, 加藤照彦 (1962) Dilated Odontoma の1治験例. 日口外誌, 9: 256-259.
- 96) 内藤清, 磯村豊, 河村直彦 (1963) 上顎の複合性歯牙腫の1例. 日口外誌, 9: 36-39.
- 97) 東勇, 時岡孝夫, 鎌倉健二, 金子誓二 (1963) 歯根歯牙腫の一症例について. 歯科医学, 26: 238-242.
- 98) 田中忠弘, 崎中忠幸, 太田隆夫 (1964) 歯牙腫の2例. 交通医学, 18: 47-51.
- 99) 本間正己, 及川典久, 佐藤重臣 (1964) 下顎に発生せる巨大なる複合歯牙腫の1例. 日口外誌, 10: 331.
- 100) 早川桂三, 浜名得右, 田中清隆 (1965) 高齢者に発現した歯牙腫の2例. 日口外誌, 11: 214-217.
- 101) 佐藤匠, 三木毅, 神原道夫 (1965) 大きな複合性歯牙腫の一例. 京大口腔紀, 5: 24-31.
- 102) 杉山乗也, 田部勤, 桑原未代子, 黒須一夫 (1965) 上顎右側大臼歯部の萌出障害をおこしたものとと思われる複合性歯牙腫の1症例. 小児歯誌, 3: 58-62.
- 103) 堀田一, 大塚輝裕, 井上坦平, 平川恒男, 河合宏 (1966) 歯牙腫の6症例について. 口科誌, 15: 395-402.
- 104) 松崎久, 稲川俊文, 八橋陸治 (1966) 硬性歯牙腫の1症例ならびに最近10年間の本邦歯牙腫の統計的観察. 耳鼻臨床, 59: 679-683.
- 105) 藤木芳成, 徳永喜正, 藤田訓也 (1966) オドントマ形成部位の未萌出下顎犬歯が反対側へ移動していた症例. 歯科放射線, 6: 11-12.
- 106) 伴長敬, 田中忠弘, 中田親良 (1966) 巨大なオドントームの1例. 交通医学, 20: 199.
- 107) 緒方哲郎, 山内千代子, 河辺薫 (1966) 歯牙腫の2例. 口科誌, 15: 426.
- 108) 大塚輝裕, 井上坦平, 平川恒男, 河合宏 (1966) Odontoma の治験例. 口科誌, 15: 79.
- 109) 佐藤武, 近藤三千雄, 中島勝秀, 古橋楠隆, 陳文根, 栗屋豊 (1966) 上顎右側犬歯欠損部に認められた複合性歯牙腫の1例. 臨歯, 254: 27-28.
- 110) 川平淳 (1966) 複合性歯牙腫の1例. 日歯評論, 285: 84-85.
- 111) 遠藤雅夫 (1967) 上顎前歯部に発生した大きな歯牙腫の1例. 小児歯誌, 5: 118.
- 112) 西坂康之, 山本俊三郎, 亀山嘉光, 司城義光 (1967) 歯牙腫の2例. 九州歯誌, 21: 138-145.
- 113) 青山善男, 石田賀子, 村田篤彦, 柏木昭, 堀井正男 (1967) 稀有と思われる複合性歯牙腫の1例. 北野病院紀, 12: 74-77.
- 114) 岡野光雄, 舩松克彦, 奥野喜美子 (1968) 複合性歯牙腫の1例. 日口外誌, 14: 103-105.
- 115) 福岡一信, 市来二彦, 山元謙一, 坂元広海 (1968) 複合性歯牙腫の1例. 日歯評論, 305: 311-313.
- 116) 亀山嘉光, 牛島進, 加藤洋治, 下川公一 (1968) 複合性歯牙腫の1例. 九州歯誌, 22: 244-248.
- 117) 久野吉雄, 松下忍, 三崎正春 (1968) 下顎前歯部に発生した複合性歯牙腫の1例. 口科誌, 17: 341.
- 118) 西村恒一, 木邑知義, 比嘉実盛, 山岡信義 (1968) 複合性歯牙腫の7症例について. 日口外誌, 14: 209-210.
- 119) 浜田義彦, 篠原寿宏, 松井澄夫, 川平淳 (1968) 歯牙腫の1例について. 日口外誌, 14: 35-38.
- 120) 丸茂一郎, 丸茂町子, オーロラ涌井, 伊藤正雄, 小野寺悦雄, 小杉忠, 徳植進, 前田栄一, 山本肇, 岡辺治男 (1968) レ線像上, 興味ある所見を呈した単純性歯牙腫の1例. 日口外誌, 14: 237.
- 121) 坂口進, 大平洋和, 諏訪彦彦, 木島恒雄, 植野可代二 (1969) 下顎に発生した巨大な複合性歯牙腫. 口科誌, 18: 196.
- 122) 宇治寿康, 三村保 (1969) 複合性歯牙腫の1例. 口科誌, 18: 832.
- 123) 鈴木貞, 桜田守利, 平間智, 黒田政文, 宮川慶子 (1968) 複合性歯牙腫の1例. 日口外誌, 14: 237.
- 124) 野井倉武憲, 篠原寿宏 (1968) 歯根側に発生した歯牙腫の1例. 日歯評論, 308: 690-691.
- 125) 松井澄夫, 春日敏之 (1969) 複合性歯牙腫の1例. 日歯評論, 323: 1099-1101.
- 126) 高橋昌士, 立松憲親, 永瀬英樹, 河村直彦 (1969) 下顎小臼歯部に発生した巨大な複合性歯牙腫の2例. 日口外誌, 15: 106-110.
- 127) 伴長敬, 白壁幸夫, 佐竹三郎, 伊東嵩英, 中池敏,

- 西博敏(1969)歯牙腫の3例について, 交通医学, 23: 462.
- 128) 増田敏雄, 肝付正(1969)混合性合成歯牙腫の1例, 日歯評論, 317: 305-307.
- 129) 池田治美, 出崎喜充, 川本尚志(1969)上顎前歯部に見られた単純性独立性歯牙腫の1症例, 広島歯科医学誌, 2: 11-14.
- 130) 瀬尾永樹, 岡安麒一郎, 玉井健三(1970)巨大なOdontomaの1例, 日口外誌, 16: 361-363.
- 131) 小笠原佑吉, 吉田稔, 藤岡幸雄, 岸根克彦, 江本実(1970)複合性歯牙腫, 口科誌, 19: 273.
- 132) 滝川富雄, 高沢延幸, 飯田喜八郎, 林裕, 中島敏之, 松本隆彦(1971)上顎に生じた複雑歯牙腫の2例, 日大歯学, 45: 1-7.
- 133) 渡辺邦一, 天羽峻, 村田雄一, 高須淳, 今井一彦(1971)乳歯に関与したCompound Composite Odontomaの1例, 日口外誌, 17: 574-575.
- 134) 両川辰雄, 甘利英一, 阿部節子, 桜田光子(1971)集合性歯牙腫の一症例, 小児歯誌, 9: 107-115.
- 135) 加子竜一郎, 広瀬典富, 金子勲, 小笠原祥二(1971)硬性歯牙腫の臨床的検討, 日口外誌, 17: 417-421.
- 136) 新国俊彦, 滝川富雄, 山口亮, 滝口正, 林裕, 堀永誠(1972)下顎に生じた巨大な複雑性歯牙腫の1例, 口科誌, 21: 403-404.
- 137) 岡田透, 山本美郎, 小野進一郎(1972)巨大な歯牙腫の1例, 日口外誌, 18: 653.
- 138) 兼松宣武, 可児徳子(1973)上顎中部に生じた集合性歯牙腫の1例, 日口腔会誌, 22: 264.
- 139) 常葉信雄, 広瀬達雄, 松川公敏, 谷田部雄二, 佐藤秀夫, 吉岡敏雄, 石木哲夫, 福島祥紘, 滝沢裕夫(1973)歯牙腫と共存したと思われる含歯嚢胞の1例, 日口外誌, 19: 714.
- 140) 下野正基, 堀内晴章, 進藤修, 杉浦邦明, 夫馬嘉昭, 今泉功(1973)複合性歯牙腫の1例, 歯学報, 73: 163-167.
- 141) 二瓶守男, 横沢昭平, 平賀三嗣, 遠藤隼人, 鈴木信頭, 小川邦明, 藤岡幸雄(1973)Compound Odontomaの1例, みちのく歯会誌, 4: 33-34.
- 142) 田中紘三郎, 門田誠四郎(1973)左下顎臼歯部に見られた比較的大きな歯牙腫の1例, 口科誌, 22: 148.
- 143) 寺延治(1973)142)田中らに追加, 口科誌, 22: 148.
- 144) 長谷川清, 谷岡博昭, 幸雅樹, 青葉孝昭, 石田武, 山内孝行(1974)Odontomaにkeratinizing and Calcifying Odontogenic Cystを伴った一症例, 阪大歯誌, 19: 154-161.
- 145) 金子賢司, 中村武夫, 川上裕永, 田所英之, 中畑範彦, 玉城肇, 渡辺正吾, 佐藤保信(1974)歯牙腫の2例, 日口外誌, 23: 724.
- 146) 中村平蔵, 滝川富雄, 佐藤広, 猪俣克則, 小野正道, 中村武彦, 吉峰一夫(1974)下顎に生じた複雑歯牙腫の1例, 日口外誌, 20: 724.
- 147) 新国俊彦, 滝川富雄, 田中博, 山梨孝, 赤星ミチ子, 斉藤一幸, 小平泰彦, 和田忠子(1974)歯牙腫を伴ったセメント質形成線維種の1例, 日口外誌, 20: 179-180.
- 148) 山本美郎, 北川武彦, 岡田透, 大野真八郎, 小野進一郎(1974)巨大な歯牙腫の1例, 臨歯, 276: 60-61.
- 149) 中畑範彦, 金子賢司, 川上裕永, 中村武夫, 渡辺正吾, 柴田朝美, 内堀仁一朗, 佐藤保信, 保高茂美, 柿沼平八郎, 里吉里美, 東郁也(1974)本邦における歯牙腫の臨床病理学的検討, 日大口腔科学, 2: 178-191.
- 150) 瀧川富雄, 田中博, 橋本征一郎, 工藤治雄, 斉藤一幸, 田尻耕司(1974)下顎に生じた複雑歯牙腫の1例, 歯科時報, 31: 16-19.
- 151) 森本昭夫, 友沢基, 樋口満, 岡本全允, 岡本健一郎(1974)最近経験した複合性歯牙腫4例, 口科誌, 23: 590.
- 152) 森喜郎, 田川俊郎, 鍋島貞男, 山口淳一, 靱山正徳(1974)歯牙腫の3症例, 口科誌, 23: 576.
- 153) 上田忠, 寺島美史, 児玉罔昭, 田縁昭(1974)歯牙腫の2例, 日口外誌, 20: 274-277.
- 154) 高橋利典, 坂井浩, 西杉武彦, 小島孝司(1974)左側下顎骨隅角部に発生したOdontomaの一例, 日口外誌, 23: 576.
- 155) 金井正雄, 松本康博, 奉光正, 瀬戸皖一, 渡辺義男(1975)集合性歯牙腫の2例, 鶴見歯誌, 1: 87-92.
- 156) 大野朝也, 佐藤義彦, 梅沢広志, 寺元徹, 足立深, 河原裕憲(1975)歯牙腫の2例, みちのく歯学誌, 6: 6-9.
- 157) 板垣光信, 鈴木鐘美(1975)上顎臼歯部に発生したComplex odontomaの1例, みちのく歯学誌, 6: 58-59.
- 158) 岡本日出夫, 大岡紀一郎, 朝倉武邦(1975)巨大なOdontomaの1症例, 歯科学報, 75: 1369-1374.
- 159) 茂木健司, 森豊, 大淵義孝, 関山三郎, 鈴木鐘美, 黒田雅行, 小川武正(1975)Odontomaを合併したCalcifying odontogenic cystの1例, 口科誌, 24: 240.
- 160) 村上博, 中谷静子, 高井勇学, 中村正利, 真館修一郎, 梅平進, 竹松啓一, 天野恵夫, 水野治郎, 玉井健二(1975)複合性歯牙腫に随伴せる埋伏歯を移植した2例, 口科誌, 24: 368-374.
- 161) 永山武彦, 加納真, 岡山秀昭(1975)歯牙腫の二例, 日口外誌, 21: 376.
- 162) 谷口邦久, 児玉和子, 本川渉(1977)永久歯の萌出を妨げていた集合性歯牙腫の1例, 九州歯誌, 31: 198.
- 163) 関保仁, 佐藤広, 田中博, 関根良夫, 飯島真由美,

- 逸見正博, 後藤任司 (1977) 下顎に生じた歯牙腫の2例. 日大歯誌, 51: 602.
- 164) 木村康夫, 平林吉彦, 西村敏明, 野田有美, 堀内章 (1977) 下顎における歯牙腫摘出を同時に埋伏歯の即時再建について. 関東通信病院歯誌, 29: 545-546.
- 165) 宮城敦, 藤波貴美, 佐藤良子, 伊藤泰蔵, 金子隆男 (1977) 小児にみられた歯牙腫の一例とその組織. 生化学的検索. 神奈川歯誌, 12: 173.
- 166) 内田稔, 宮里尚明, 新井誠二郎, 熊沢康雄, 鈴木修, 河越正顕 (1975) 複合性歯牙腫の3症例とその摘出物の石灰化像について. 口科誌, 24: 263-264.
- 167) 田縁昭, 児玉罔昭, 平田秀一 (1976) 歯牙腫と濾胞性歯牙腫と合併した1例. 日口外誌, 24: 99-102.
- 168) 村松隆丸, 中久木一乗, 宮内孝 (1976) 上顎犬歯部に発生した複合性歯牙腫の1例. 通信医学, 28: 237-240.
- 169) 北村豊, 伊藤栄二, 亀山嘉光, 干野武広 (1976) 歯牙腫の1症例. 口科誌, 25: 527-528.
- 170) 小野正道, 滝川富雄, 飯島真由美, 阿部幸蔵, 伊藤誠, 黒田文男, 赤星ミチ子, 野田哲 (1978) 内部に大きな嚢胞腔の形成を見た複雑性歯牙腫の1例. 日口外誌, 24: 1351.
- 171) 河田耕治, 中村寿文, 吉田幸子, 筒井英夫 (1978) 最近経験した複合性歯牙腫の3例. 日口外誌, 24: 1004-1005.
- 172) 内田廣美, 園山昇, 内田稔, 宮本康一, 山口勝則, 奥富史郎, 木村幸子 (1978) 複雑性歯牙腫の1症例. 歯学, 66: 548-553.
- 173) 本田光徳, 施元芳 (1978) 興味ある複合性歯牙腫の3例について. 日口外誌, 24: 1351.
- 174) 永井晴彦, 中島泰臣, 本田武司, 中島嘉助, 古本克磨, 三浦哲夫, 北村勝也 (1976) 興味ある集合性歯牙腫の1例. 口科誌, 25: 528.
- 175) 堀田一, 柴田寛一, 磯貝昌彦, 岸岩男 (1976) 歯牙腫の2例. 医療, 30: 659-662.
- 176) 坪田不二雄, 都築英子, 北村博則 (1977) 集合歯牙腫の組織像と発生機転の考察. 神奈川歯誌, 12: 68-80.
- 177) 黒柳錦也, 正岡勇記, 松下茂, 宮忠昭, 山本義茂 (1977) 集合歯牙腫形成過程のX線学的研究. 齒科学報, 77: 565-571.
- 178) 原秀一, 河野寿一, 菊地進 (1977) 下顎左側第一大臼歯の萌出障害をおこした複雑歯牙腫の1症例. 小児歯学誌, 15: 349-357.
- 179) 菱川幹夫, 立松憲親, 岡伸光 (1977) 3]の転位迷入を来した集合性歯牙腫の1例. 口科誌, 26: 359-360.
- 180) 平林みどり, 仁井谷究, 伊集院直邦, 福島襄, 井伊健一, 綾英紀 (1977) Complex odontoma の病理組織像を伴った石灰化歯原性嚢胞の1症例. 広島大歯誌, 9: 70-73.
- 181) 新国俊彦, 瀧川富雄, 佐藤廣, 山口堯, 赤星ミチ子, 小野正道, 新野吉彰, 三輪かつ子 (1977) 上顎に生じたいわゆる複雑歯牙腫の1例. 日口外誌, 23: 738.
- 182) 阿部通夫, 久保田通, 田代英雄 (1976) 下顎骨に発生した巨大な歯牙腫の1例. 日口外誌, 22: 973.
- 183) 佐々木仁弘, 野坂久美子, 甘利英一, 畠山節子 (1978) 経年的観察を行った集合性歯牙腫の1症例. 小児歯誌, 16: 137-143.
- 184) 中島嘉助, 星野直樹, 本田武司, 中島泰臣, 古本克磨, 谷口邦久, 三浦哲夫, 北村勝也 (1978) 興味ある組織像を示す複合性歯牙腫の1例. 福岡歯大誌, 5: 195-201.
- 185) 森栄, 安東葉子, 蔡麗卿, 吉田定宏 (1978) Complex odontoma 様の組織塊を伴った下顎永久中切歯の1例. 岐阜歯学誌, 6: 30-35.
- 186) 鈴木善雄, 丹羽金一郎, 杉本正史, 岸本正 (1978) Odontoma が原因と思われる正中離開を伴った下顎前突の一治療例. 近畿東海歯科矯正誌, 13: 76-81.
- 187) 山崎嘉幸, 井上温雄, 千葉良人, 境野伸一 (1978) 歯牙腫の2例. 口科誌, 27: 135.
- 188) 佐久間徹, 大野康亮, 斉藤健一, 篠原譲治, 鈴木規子, 朽名正也, 吉田広, 道健一, 上野正 (1978) 感染を伴った下顎歯牙腫の1例. 日口外誌, 24: 654.
- 189) 片山公則, 中川徹, 徳永力, 坂本彰宏, 平田秀一, 児玉罔昭, 田縁昭 (1979) 歯嚢性嚢胞性病変を伴う歯牙腫の1例. 日口外誌, 25: 960.
- 190) 沼田与志晴, 佐々木正道, 佐藤憲太郎, 越前和俊, 関重道, 関山三郎, 鈴木鐘美 (1979) Odontoma を合併し, 多量の石灰化物を形成した石灰化歯原性嚢胞の一症例. 岩手医大歯誌, 4: 125-136.
- 191) 富永二三子, 錦織美晴, 中川正明, 清水達明, 小島正明, 高橋利典 (1979) 乳歯列にみとめられた複合性歯牙腫の1症例. 臨歯, 293: 57-59.
- 192) 砂川元, 古田勲, 伝庄信也, 小浜源郁 (1979) 左上顎洞部に発生した Complex odontoma の1例. 北海道歯会誌, 34: 31-34.
- 193) 瀧川富雄, 田中博, 橋本征一郎, 工藤治雄, 斉藤一幸, 田尻耕司 (1979) 下顎に生じた複雑歯牙腫の1例. 齒科時報, 31: 16-19.
- 194) 松村和良, 西嶋克巳, 岡本全充, 小林清司, 木口章三, 高知宏喜, 下山一郎, 諏訪邦子, 上田茂樹, 馬場正重, 安積雅 (1979) 右下顎第1, 第2大臼歯の萌出障害をきたした歯牙腫の1例. 口科誌, 28: 497-502.
- 195) 石川秀俊, 津田真, 遠藤慶子, 小野尊睦 (1980) 3才女兒に見られた集合性歯牙腫の1例. 京大口科紀要, 20: 88-91.

- 196) 呉屋幸子, 山城正宏, 高江洲正勝, 本村和弥, 金城孝, 菅原信一, 寒阿江登志朗, 平井五郎(1980) 歯内歯様構造をもった複雑性歯牙腫. 口科誌, 29: 501-508.
- 197) 石田治(1980) 上顎洞部に発生した自然排出した Complex odontoma の1例. 日口外誌, 26: 1687.
- 198) 岡原芳孝(1980) 上顎前歯部に見られた歯牙腫の1例. 広島歯科医学誌, 7: 28.
- 199) 清水良次, 橋本建治, 後藤文雄, 東山隆勇, 平野隆司, 藤井義輝, 齊吉洋, 豊嶋昭治, 今村実, 浜崎一郎, 沢熊正明(1980) Odontoma の1例. 九州歯会誌, 34: 312.
- 200) 大森敬美(1980) 7才男児にみられた集合性歯牙腫の1症例. 小児歯誌, 18: 450.
- 201) 横山明子, 相田真理, 直江尚利, 足利正光, 角川進次郎, 大杉泰三, 下岡正八(1980) 歯牙腫による乳歯萌出遅延の1症例. 歯学, 68: 134.
- 202) 篠崎文彦(1980) Odontoma 2症例の検討. 日口外誌, 26: 1156.
- 203) 猪狩俊郎, 越後成志, 高橋俊治, 手島貞一, 松田耕作, 山本肇(1980) Calcifying odontogenic cyst の中に Odontoma を認めた1例. 日口外誌, 26: 547-548.
- 204) 有田信一, 中川幹夫, 川越仁, 藤田信義, 伊東隆三, 松本光生, 岡喜七郎, 北村勝也(1981) 乳犬歯の萌出を妨げていた集合性歯牙腫の1例. 福岡歯大誌, 8: 216-222.
- 205) 鳥取美男, 高橋利近, 木村卓爾, 井奥尚也, 浅木宏尚(1981) 集合性歯牙腫による「3」の埋伏. 口科誌, 30: 346.
- 206) 野堀幸夫, 石橋利文, 大木康毅, 永野知一, 野堀一, 友部仁, 根本一男(1981) 下顎に生じた複雑性歯牙腫の1症例. 日口外誌, 27: 2016-2017.
- 207) 西岡哲二, 森本忠三, 上仲均, 白数力也, 山田隆造, 古跡孝和(1981) 乳歯に関係したと思われる集合性歯牙腫の1例. 歯科医学, 43: 688-689.
- 208) 松村智弘, 菅原利夫, 渡辺林三, 石原吉孝, 今西秀明, 宮地哲彦(1982) 2年間に亘って経時的観察を心得た歯牙腫の1例(特にレントゲン診査を中心に). 阪大歯誌, 27: 107-112.
- 209) 上田重信, 田畑利章, 山口一文, 鎌田仁, 木下鞆彦, 志村介三(1982) 上下顎に多数の過剰歯を伴った歯牙腫. 日口外誌, 28: 551-552.
- 210) 山口政彦, 長本孝一, 富沢美恵子, 野田忠(1982) 永久歯の萌出遅延と位置異常をもたらした集合性歯牙腫の二例. 小児歯誌, 20: 232.
- 211) 畑良明, 小泉政義, 伊東泰藏, 杉村和昭, 檜垣旺夫, 中村聡(1982) 小児に認められた集合性歯牙腫の3症例. 神奈川歯誌, 17: 314-323.
- 212) 倉内剛, 金平正三, 甲村雄二, 塚本茂樹, 稲本浩, 高井克喜(1982) 下顎に見られた巨大な複雑性歯牙腫の1例. 愛院大誌, 20: 350-354.
- 213) 中山康弘, 小林清司, 田村博宣, 小山茂樹, 前迫昌子, 樋口恵子(1982) 右下顎第1大臼歯の埋伏を伴った複雑性歯牙腫の1例. 岡山歯誌, 1: 57-63.
- 214) 板松満(1982) 上顎犬歯の萌出障害をきたした歯牙腫の2例. 山形県病医誌, 16: 210-216.
- 215) 竹下貴久, 桐山健, 前田龍一, 阪本知二, 菅田辰海, 瀬山淳, 高田和彰(1983) 左側上顎部に発生した巨大な複雑性歯牙腫の1症例. 日口外誌, 29: 294-298.
- 216) 平川英明, 寺坂修治(1983) 10才男児の上顎洞部に発現した巨大な複合性歯牙腫の1例. 小児歯誌, 21: 595-596.
- 217) 今浪加寿栄, 木村光孝, 内上堀征人, 松山道孝, 長谷川喬, 住本和隆, 新城啓和(1983) Complex Odontoma の1例. 小児歯誌, 21: 251-258.
- 218) 後藤文雄, 藤井義輝, 東山隆勇, 平野隆司, 鴨川卓也, 橋本建治, 豊嶋昭治, 谷口邦久, 北村勝也(1983) Complex Odontoma の1例. 九州歯会誌, 37: 822.
- 219) 堀内克啓, 勝井和也, 當麻恭司, 植村和嘉, 岡田征夫, 河野孝行, 杉村正仁(1983) 歯牙腫の4例. 口科誌, 32: 785-786.
- 220) 黒田猛, 三宅哲, 杉浦孝明, 小沢賢治, 松田克一, 大林弘明, 小池文彦, 宮沢弘, 吉田美昭, 植木輝一, 渡辺文夫, 小宮山一雄(1983) 歯牙腫の2例について. 日大歯誌, 57: 610.
- 221) 河野信彦(1983) 再発性歯牙腫の1例. 九州歯会誌, 37: 641-644.
- 222) 豊嶋昭治, 後藤文雄, 橋本建治, 北村勝也(1983) 集合性歯牙腫の3例. 九州歯会誌, 37: 391-400.
- 223) 平本隆介, 松本行洋, 沢井清治, 九津見紳一朗, 三森昭彦, 浜田清俊, 浅田洗一, 石橋克禮(1983) 下顎両側性に存在した歯牙腫の1例. 日口外誌, 29: 1170.
- 224) 柴田肇, 加藤克彦, 江良謙次, 公平善啓, 楊井孝, 吉沢信夫, 五十嵐敏三(1983) 最近経験した歯牙腫の2例. みちのく歯会誌, 14: 144-147.
- 225) 中原世津子, 副島嘉男, 塚本末廣, 本川渉, 吉田穰(1983) 乳歯の萌出を妨げていた歯牙腫の2例. 福岡歯大誌, 9: 780-789.
- 226) 小野正道, 瀧川富雄, 佐藤廣, 大木秀郎, 中村卓志, 武山恭平, 小澤淳子, 高原峰子, 永山栄子(1984) 歯牙腫を伴った石灰化歯原性嚢胞の1例. 日口外誌, 30: 105.
- 227) 上原智恵子, 登内喜美江, 野田忠, 福島祥絨(1984) 形成過程を経時的に観察した集合性歯牙腫の1例. 小児歯誌, 22: 698-705.
- 228) 堀稔, 榎本武司, 山野井弘充, 佐藤修久, 高山泰男, 三宅正彦, 見崎徹, 田中博, 工藤逸郎, 堀江憲夫, 齊藤一郎(1984) 複雑性歯牙腫の3症例. 日口外誌, 32: 785.